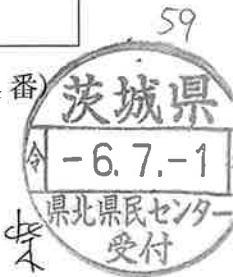


（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 26 日	
茨城県知事	殿
提出者	
住 所 茨城県北茨城市磯原町磯原 1130 番 6	
株式会社 IJTT 北茨城工場	
氏 名 工場長 狩谷 健二	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0293-43-2500	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 IJTT 北茨城工場
事業場の所在地	茨城県北茨城市磯原町磯原 1130 番 6
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械機器製造業
② 事業の規模	1,619 億円 (2023 年 3 月 31 日時点)
③ 従業員数	516 名 (2024 年 4 月 1 日時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1 のとおり

(日本工業規格 A 列 4 番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div>(管理体制図)</div> <div> <div>北茨城工場 工場長</div> <div>↓</div> <div>生産本部 北茨城生産管理グループ (廃棄物管理実務)</div> </div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 2 の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 製造工程の見直しを継続するとともに、製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の排出を目指す ・ 分別の推進により廃棄物量を抑制する。有価物化を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 製造工程の見直しを継続するとともに、廃棄物の発生抑制を目指す ・ 分別の推進により廃棄物量を抑制し、有価物化を目指す		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 木くず：修理可能な板パレットを分別し、修理利用 ・ 廃プラスチック：より細分化した分別を実施し排出量低減		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状の分別強化		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙1】

産業廃棄物の一連の処理の工程

廃棄物の種類	処理工程
汚泥	委託処理(焼却)
廃油・塗料カス	委託処理(焼却)
廃酸	委託処理(中和)
廃アルカリ	委託処理(焼却)
廃プラスチック	委託処理(焼却・破碎・圧縮)
木くず	委託処理(破碎)
ガラスくず	委託処理(破碎)
鋳さい	委託処理(破碎, 焼成, 再生利用)
ばいじん	委託処理(破碎, 再生利用)
水銀使用製品産業廃棄物	委託処理(破碎)
乾電池	委託処理(破碎, 選別, 再生利用)
pH12.5以上の廃アルカリ	委託処理(中和) 特別管理廃棄物
安定型混合廃棄物	委託処理(破碎, 選別)
pH2.0以下の廃酸	委託処理(中和) 特別管理廃棄物
燃えやすい廃油	委託処理(焼却) 特別管理廃棄物
紙くず	委託処理(焼却)
管理型混合廃棄物	委託処理(焼却)

【別紙2】

令和5年度排出の現状 及び 令和6年度処理計画

産業廃棄物		単位:t
種類	排出量(現状)	排出量(計画)
汚泥	349.121	331.665
廃油・塗料カス	571.170	542.612
廃酸	1.910	1.815
廃アルカリ	0.029	0.028
廃プラスチック	62.055	58.952
木くず	203.810	193.620
ガラスくず	0.001	0.001
鋳さい	21972.540	20873.913
ばいじん	0.000	0.000
水銀使用製品産業廃棄物	0.160	0.152
pH12.5以上の廃アルカリ	0.000	0.000
金属くず	0.000	0.000
がれき類(工作物の新築、 改築又は除去に伴って生じた不要物)	0.000	0.000
廃電池類	0.150	0.143
紙くず(段ボール)	21.670	20.587
安定型混合廃棄物	11.580	11.001
管理型混合廃棄物	0.323	0.307
燃えやすい廃油(特管)	0.000	0.000
PH2.0以下の廃酸(特管)	0.000	0.000

23194.52

22034.79

【別紙3】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

前年度(令和5年度)実績

単位:t

種類	全処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	優良認定処理業者 への処理委託量
汚泥	349.121	0.000	234.53
廃油・塗料カス	571.170	0.000	571.170
廃酸	1.910	0.000	1.91
廃アルカリ	0.029	0.000	0.03
廃プラスチック	62.055	0.000	0.025
木くず	203.810	0.000	0.00
ガラスくず	0.001	0.000	0.00
鋳さい	21972.540	9330.670	2556.57
ばいじん	0.000	0.000	0.00
水銀使用製品産業廃棄物	0.160	0.000	0.16
pH12.5以上の廃アルカリ	0.000	0.000	0.00
金属くず	0.000	0.000	0.00
がれき類(工作物の新築、 改築又は除去に伴って生じた不 要物)	0.000	0.000	0.00
廃電池類	0.150	0.000	0.00
紙くず(段ボール)	21.670	0.000	0.00
安定型混合廃棄物	11.580	0.000	0.00
管理型混合廃棄物	0.323	0.000	0.00
燃えやすい廃油(特管)	0.000	0.000	0.00
PH2.0以下の廃酸(特管)	0.000	0.000	0.00
合計	23194.52	9330.67	3364.40

40.23%

②計画

今年度(令和6年度)目標

単位:t

種類	全処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	優良認定処理業者 への処理委託量
汚泥	331.66	0.00	222.80
廃油・塗料カス	542.61	0.00	542.61
廃酸	1.81	0.00	1.81
廃アルカリ	0.03	0.00	0.03
廃プラスチック	58.95	0.00	0.02
木くず	193.62	0.00	0.00
ガラスくず	0.00	0.00	0.00
鋳さい	20873.913	8864.14	2428.74
ばいじん	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品産業廃棄物	0.15	0.00	0.15
pH12.5以上の廃アルカリ	0.00	0.00	0.00
金属くず	0.00	0.00	0.00
がれき類(工作物の新築、 改築又は除去に伴って生じた不 要物)	0.00	0.00	0.00
廃電池類	0.14	0.00	0.00
紙くず(段ボール)	20.59	0.00	0.00
安定型混合廃棄物	11.00	0.00	0.00
管理型混合廃棄物	0.31	0.00	0.00
燃えやすい廃油(特管)	0.00	0.00	0.00
PH2.0以下の廃酸(特管)	0.00	0.00	0.00
合計	22069.13	8864.14	3196.18

【別紙4】

令和5年度排出の現状 及び 処理計画

特別管理産業廃棄物		単位:t
種類	排出量(現状)	排出量(計画)
廃PCB等	0.32	0.30

①現状

前年度(令和5年度)実績			単位:t
種類	全処理委託量	再生利用業者への処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量
廃PCB等	0.32	0.32	0

②計画

目標			単位:t
種類	全処理委託量	再生利用業者への処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量
廃PCB等	0.32	0.30	0